

こやまだやくし どうほんぞんかけぼとけ
小山田薬師堂本尊懸仏

- ◇ 指定日 昭和55年5月29日
- ◇ 所在地 小山田
- ◇ 所有者 小山田神社

懸仏とは、銅などの円板（鏡板）に仏像を取り付けたもので、神社やお堂で祀られていたものです。

この懸仏は、鏡板が失われ、尊像部分の阿弥陀如来像だけが残されており、薬師堂本尊のひとつとなっています。

阿弥陀如来像は、台座と一体に造られたちゅうてつせい鑄鉄製で、腹前で両手をかさ れんだい重ね蓮台に座しています。



像高 4.8cm 台座幅 4.7cm

素朴ながら、あじわいのある懸仏で、制作年代は南北朝時代に遡る可能性があります。